

令和4年7月22日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
日本国際ボランティアセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「パレスチナ問題とNGOの支援活動」

企画実施概要: ①実施内容
パレスチナ情勢、NGOの国際協力について学ぶ大学生たちに講義を行った。

②対象者および参加人数
大学2年生30名

2 出張者氏名

並木 麻衣

3 依頼元／主催団体名

学校法人青山学院

4 実施日時

令和4年7月5日 (火) 16:50 ~ 18:20

5 実施場所

会場名 青山学院大学(住所:東京都渋谷区)

6 実施報告

・この地域の情勢ではお互いに「正義」を振りかざしてなかなか解決しないのではと講演から想像した。具体的な状況がわかってよかった。

・複雑な情勢の中でも、国際協力として市民が日本からできることの具体例を知ることができ、国際協力の興味がわいた。

・学生でも国際協力にインターンやボランティアで関わると知り、ぜひ参加してみたいと思った。

7 写真



以上

令和4年7月2日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
開発教育協会(DEAR)

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名:** 「SDGsよこはまCITY(夏)」
- 企画実施概要:**
- ①実施内容
神奈川県内を中心に活動するNGOや国際協力、開発教育や国際理解教育に関連する団体が一堂に会する「SDGsよこはまCITY」において、開発教育ワークショップを実施する。また、参加者からの開発教育・国際協力に関する相談対応を行った。
 - ②対象者および参加人数
国際協力・国際交流・多文化共生に関心のある市民、NGO・NPO団体、学生等 5名

2 出張者氏名

岩岡由季子

3 依頼元／主催団体名

よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会

4 実施予定日時

令和4年7月2日 (土) 11:00 ~ 13:00

5 実施場所

オンラインにて開催

6 実施報告

「日本に暮らす難民について考える」をテーマにワークショップを実施した。高校生2名と社会人(学校教員、ボランティア活動)の方など全5名の参加があった。難民に関するクイズを行ったり、日本に暮らす難民の方のエピソードを読むことで、日本の難民受け入れ制度や実態について意見交換を行った。参加者の方からは「日本の難民受け入れの歴史やインドシナ難民について初めて知った」「難民と一言で言っても、いろいろなケースがあることが分かった」「ウクライナのことだけでなく、世界の難民発生や受け入れのことを考えることができた」といった声が聞かれた。

参加者からの相談コーナーも設け、学校教員の方よりオンラインでの参加型学習の進め方や、SDGsに関する授業のすすめ方等について相談があった。

7 写真

 <p>認定NPO法人開発教育協会 (DEAR)</p> <p>知り・考え・行動する 地球市民を育むNGO</p> <p>©DEAR All Rights Reserved.</p>	<p>質問 2 難民・避難民など、故郷を追われた人は世界で何人いる？</p> <p>①35万人 世界で一日に生まれる子どもの数</p> <p>②1,370万人 東京都に住む人の数</p> <p>正解 ③8,930万人 世界の難民・避難民の数 (2021年末時点)</p> <p>④1億2,000万人 日本の人口</p>
<p>スライド資料(抜粋)</p>	<p>スライド資料(抜粋)</p>

以上

令和4年7月20日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 国土館大学政治行政学科の学生に対する講演

企画実施概要: ①企画内容
同学科の「国際機構論」の講義において「国際社会におけるNGOの役割」というテーマで講演を行った。

②対象者および参加人数
大学3・4年生(1・2年生聴講生含む) 約80名

2 出張者氏名 認定NPO法人アイキャン 庭田美環

3 依頼元／主催団体名 国土館大学 政経学部 政治行政学科 上村信幸 教授

4 実施日時 2022年7月15日(金) 16:25～17:55

5 実施場所 国土館大学世田谷キャンパス 5304 教室

6 実施報告 「NGOの歴史」を導入とし国際社会におけるNGOの役割を説明、具体例として当団体がどのような活動を実施しているのかを紹介した。フィリピンにおける路上の子どもたちの動画や、職業訓練を受けた青年たちの動画には非常に高い関心を示していた。もとより国際情勢/協力に関心のある学生が集まっていたこともあるが、今回の講演を通じて学生たちの知識欲/国際社会への貢献意欲を高められたように思う。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

令和4年8月5日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
AMDA社会開発機構

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 島根大学キャリアデザインプログラム履修生対象セミナー

企画実施概要： ①実施内容
NGOが関わるさまざまな国際協力の事例や携わり方、キャリアパスなどを紹介し、参加者からの相談に対応した。

②対象者および参加人数
島根大学キャリアデザインプログラム履修生3名、教員2名

2 出張者氏名 山上正道

3 依頼元／主催団体名 国立大学法人島根大学 大学教育センター

4 実施予定日時 令和4年7月25日（月） 18:40～20:20



5 実施場所 島根大学松江キャンパス（島根県松江市西川津町1060）

6 実施報告

海外で活動する手段は思っていたより色々あると知ることができて、それらに関心を寄せるいい機会になった。本当に漠然と海外に興味を持っていただけだったので、今日は国際協力を知るというステップにあがることができた。

発展途上国などを支援する活動は、私にはとても手の届かない世界だと思っていたので、実際に活動を行っている人のお話を聞くことで良い刺激を受けられた。発展途上国での生活は過酷なので、自分も同じように活動をしたいという確信はもてなかったが、将来のキャリアについて、考え方の幅が広がったと思う。

7 写真

	
講演の様子	NGO相談員の説明

以上

令和4年8月4日

外務省国際協力局
民間援助連携室

特定非営利活動法人
えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: 「香川県立高松商業高等学校授業」

企画実施概要: ①実施内容
依頼元である香川経済同友会が、地域のSDGsに資する活動や事例をこれからの未来を築く高校生に向けて紹介し、共に学び、持続可能な社会づくりのための人材育成に寄与することを目的として、高校への社会人講師派遣事業を行っていることから、高校生を対象とした国際協力につながるSDGs普及啓発を行った。冊子「四国・国際協力団体とODA」、ESD・SDGs・ODA関連資料等の配布を行い、四国の国際協力団体の活動についての説明を通じて、高校生の進路の選択肢の一つに国際協力という道があることを紹介した。

②対象者および参加人数
教員、生徒 27名

2 出張者氏名 宇賀神幸恵

3 依頼元／主催団体名 一般社団法人香川経済同友会

4 実施予定日時 令和4年7月8日 (金) 10:45 ~ 11:30

5 実施場所 香川県立高松商業高等学校(香川県高松市松島町一丁目18番54号)

6 実施報告
講演後、生徒から
・SDGsについて詳しく知る機会となり、とても参考になった。
・NGO、NPOについて聞いたことはあったが具体的に何をしているか知らなかった。四国にも国際協力をしている団体があるとわかった。
・医療系の進路を考えており、医療の分野で国際協力に携わるといいう選択肢があることを知ることができてよかった。
というような感想があり、意識の高さが伺えると同時に、生徒の探求心・知識欲に応えることができたという手ごたえを感じた。

7 写真



NGO相談員について説明している様子①



授業の様子②

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：** 国際協力ってなんだろう？モンゴルを通じて学ぶSDGs
- 企画実施概要：** ①実施内容 ODAマンの紹介、県内のNGO活動紹介。その後、モンゴルでの国際協力の活動やモンゴルの生活の中で持続可能な習慣について紹介をする。モンゴルをより身近に感じるべく、雑貨や民族衣装を使用したアクティビティも取り入れる。
- ②対象者および参加人数：7名

2 出張者氏名

奥山有希、石嶺絵里子

3 依頼元／主催団体名

特定非営利活動法人 サポートセンターゆめさき
地域若者サポートステーション沖縄

4 実施予定日時

令和4年7月5日 (火) 13:00~14:30



5 実施場所

沖縄市コリンザ (住所：沖縄県沖縄市)

6 実施報告

- 参加者の声を2～3書いてください
- ・異国の文化や慣習を知ることができておもしろかった
 - ・キリル文字を学ぶことができた
 - ・民族衣装を着ることができて楽しかった
 - ・「台地を家畜の血で汚してはいけない」という言葉と自然への畏敬の念を感じ、とても印象に残っています

7 写真

	
<p>モンゴルの民族衣装を体験しながらどこの国のものかクイズしている様子</p>	<p>モンゴルの家畜についての話をしている様子</p>

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：** ネパール人ゲストとともに県内でできる国際協力を考える
- 企画実施概要：** ①実施内容 ・ODAマンの紹介。その後、日本・ネパールにおけるNGO活動や、ネパール人ゲストによるボランティア活動等を例に参加型の開発教育を実施する。
ネパールをより身近に感じるべく、「違い」をテーマにしたアクティビティも取り入れる。
②対象者および参加人数 沖縄大学1年生34人（春田ゼミ・糸数ゼミ）

- 2 出張者氏名** 佐々木綾菜、グルン ラジ
- 3 依頼元/主催団体名** 沖縄大学
- 4 実施予定日時** 令和4年7月6日（水） 9:00~12:10
- 5 実施場所** 沖縄大学（沖縄県那覇市）
- 6 実施報告**
- ・ネパールについてそもそも知らなかったのが、アクティビティを通して文化や国民性、日本と異なる点も学べて楽しかった。
 - ・講師の方のお話の中で、「世界はグローバル化し、1つになっている」という言葉が印象的だった。相手を知ることは自分にとっても大切なことだと気づいた。
 - ・国際協力や海外、外国人は身近ではなかったけれど、身近に感じる事ができて興味深かった。

7 写真

	
動画をを通して活動のようすを学ぶ	アクティビティを通してネパールについて学ぶ

(写真1)

(写真2)

以上

令和4年8月4日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
沖縄NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：** 教育現場におけるSDGsと国際協力
- 企画実施概要：** ①実施内容 県内教育機関におけるSDGsと国際協力がテーマの教育活動の事例を紹介し、中学校の授業実践を教員と共に考える。
②対象者および参加人数 中学校教員45名

2 出張者氏名

渡邊 直美

3 依頼元／主催団体名

那覇市立鏡原中学校

4 実施予定日時

令和3年7月26日 (月) 9:00~11:00

5 実施場所

鏡原中学校 (住所：沖縄県那覇市鏡原町36-1)

6 実施報告

- ・SDGsはここ数年教育現場においてもメジャーなテーマとなっているが、まだまだ教員自身がSDGsを理解していない中で、今回のように実践事例を踏まえた研修は学びが多かった。
- ・すぐに実践したい。2023年は子どもがたち社会で活躍しているであろう年なので、まずは小さな意識から変えていければと思う。
- ・日々の何気ない社会の広告からも学びがある。コロナ禍だからできる教育もあるのではないかと気づきに変わった。

7 写真

	
SDGsの取り組み事例を動画で視聴するようす	生徒への問を立てるワークショップを体験しているようす

(写真1)

(写真2)

以上